安全防災だより

奥越特別支援学校　保健指導部
平成２８年２月２２日発行
第３号

3回目の避難訓練を実施しました(^_^)v

１月 12 日、今年度３回目の避難訓練を「大地震発生、本校で火災は起きていない」という想定で行いました。素早く机の下に隠れ、放送の指示に従って落ち着いて避難することができました。

避難後は、消防士の方に御講評をいただきました。避難の際には、頭上からの落下物や崩落した壁、割れたガラスに警戒するため、頭を守りながら廊下の真ん中を通ることなどのアドバイスをいただきました。

煙体験をしました。

避難訓練終了後、消防士の方に御指導をいただきながら、煙が充満した部屋を通る体験をしました。

児童生徒の感想をいくつか紹介します。

小学部児童：「ホールに入った。煙が出た。煙の中を歩いた。暗かった。消防署の人とタッチをして出た。煙の中は怖かった。」

中学部生徒：「煙が充満している部屋は視界が狭くてどこが出口か全く分からず、予想以上に怖かった。でも落ち着いて、壁伝いに姿勢を低くして歩き、無事に出口にたどり着くことができた。今回の煙体験を、実際の火災時に活かせるように覚えておきたい。」

高等部生徒：「暗くて全く見えなかった。姿勢を低くして口を覆うようにする。」「ハンカチで口を押さえて煙の中に入った。煙は上の方にたくさんあって、下には少なかった気がする。」「煙で遠近感が掴めない状況の下、火が見えて、ガスも出て、床にガラスが散乱していたら一歩も動けないだろう。」

上記のように、煙の怖さを実感した児童生徒が多かったです。

御家庭でも是非、煙体験のことを話題にしていただき、日頃から火の用心を心がけることや火災や地震の時の避難の仕方などについて話し合ってみてください。

煙が充満した部屋を通る際の

・ハンカチを口に当てる。
・しゃがんだ姿勢で壁伝いに移動する。

備蓄食料品の返却について

◎備蓄用の食料品購入に御協力ありがとうございます。今年度分を、他校へ進学予定の生徒、高等部卒業生は卒業式前日に、本校に進学・進級する児童生徒は次年度分を購入後に返却させていただきます。この機会に、災害時の備蓄品について考えてみてください。